



2023-2024年度

2024年2月7日(水)

【25回】

WEEKLY NEWS

通算 2486回



国際ロータリー第2640地区

和歌山東南ロータリークラブ【週報】

会長:塩崎和仁 幹事:坂本武司 会報委員長:小林一三

事務局 E-Mail: rotary@wakayama-serc.org http://wakayama-serc.org/

例会日 水曜日 例会場:村アパローム紀の国 第1,第2,18:30~(夜) 第3,第4,第5,12:30~(昼)

先週例会報告 会場監督 中岡隆文

ゲスト: 関西ウクライナ友好協会 代表理事 カトウ・カテリーナ様、
理事 三原イリーナ様、事務局長 柳原紗知花様

「和歌山東南ロータリークラブ 創立53周年記念例会」 2024年2月7日(水)



《 会長挨拶 》 塩崎和仁会長

- ① 今日は「創立53周年記念例会」です。
- ② 「ウクライナの現状について」 一般社団法人 関西ウクライナ友好協会
代表理事 カトウ・カテリーナ様、理事 三原イリーナ様
事務局長 柳原紗知花様
宜しくお願い致します。
- ③ 2月14日の例会は、和歌山南RCとの合同例会です。
当クラブはホストとなっております。
- ④ 「第39回和歌山東南RC 旗争奪野球大会兼第49回和歌山市軟式野球連盟学童部東支部新人
大会」開会式:3月3日(日) 9時~
- ⑤ 「I.M. (インターシティミーティング)」3月17日(日)



本日の出席報告									
会員総数	39名		出席者	出席率	寄付金	ニコニコ	米山記念 奨学会	ロータリー 財団	東南 育英会
出席免除会員	2名	2/7	21名	67.57%	累計	1,558,189	161,000	201,000	10,000

《 幹事報告 》 坂本武司幹事

- ① 3件事務局に届いておりますので、各テーブルに一部置いてあります。
ご一読頂き、御入用の方はお持ち帰り下さい。
・2023-2024年度 月信2月号
・令和6年能登半島地震支援について。
和歌山市内9RC共同奉仕事業としての寄付195,000円（会員一人当たり5,000円×会員数39名分・社会奉仕員会費より）を会長幹事会ホストの城南RCへ持参いたし、預り証をいただきました。
・2640地区 2025-26年度ガバナー確定のお知らせ。
- ② ロータリーの友2月号 横組みP30“ROTARY AT WORK”に今年度社会奉仕事業「秋の収穫祭」の記事が掲載されました。ぜひ、皆様ご覧ください。
あと、和歌山市内9RC共同奉仕事業「JR和歌山駅花壇植え替え」の記事も掲載されています。
- ③ ロータリーレート 2月は1\$=147円です。
- ④ 毎年寄贈いただいております「抜粋のつづりその八十三」が熊平(くまひら)製作所 会長熊平雅人様(東京RC会員)より届いております。皆様のラックに入れておりますので、お目通し下さい。
- ⑤ 来週の例会は和歌山南RCとの合同例会です。日時・場所は通常例会と同じ、18:30～アバローム紀の国です。皆様のご出席、よろしく願いいたします。
- ⑥ 本日例会終了後、定例理事会を開催致します。役員・理事の皆様、宜しく願い致します。

世界に希望を生み出



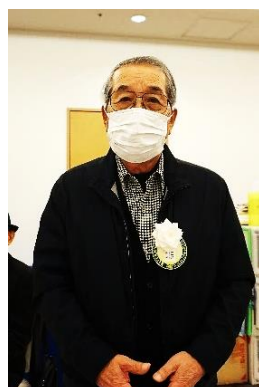
《 ニコニコ箱報告 》 中曾真二郎会計

塩崎君：カトウ・カテリーナ代表理事様、本日は宜しくお願いします。
中曾君：創立53周年を祝して。
本人お誕生日お祝い：保田君、山田君、坂本君。
配偶者お誕生日お祝い：竹中君、土屋君。



♪ 2月ご本人・配偶者御誕生日お祝い♪

♪おめでとうございます。♪



「ゲスト紹介」 奥村親睦委員





「乾杯の挨拶」辻本パスト会長



♪ ソング斉唱 ♪ 赤在ソング委員
「君が代・我ら和歌山東南ロータリー・パステイソング」

外部卓話 「ウクライナの現状について」

一般社団法人関西ウクライナ友好協会 代表理事 カトウ・カテリーナ様



この度は和歌山東南ロータリークラブの皆様ご貴重なお時間誠にありがとうございました。2022, 2, 24に平和に暮らしていたきれいな街、優しい人々にいきなり悲劇が襲いかかりました。卓話でもお話させて頂きましたが、戦争が未だに続くウクライナの現状を日本では今あまり知る機会がなく、ニュースも少なくなってきたため実感が薄れてきているのが現状となりつつあります。



ただ現状では、以前よりもロシアの攻撃がひどくなり世界でも戦争が続き、それにより、ウクライナの人々は家族、親戚、友人、身近な大切な誰かを失っている想像を絶する不安な日々が続いております。そんな中で、個人でウクライナ支援をしていた在日ウクライナ人のカトウカテリーナ、三原イリーナ、イヴァノアリリア、2023年に一般社団法人関西ウクライナ友好協会を立ち上げました。ウクライナ現地の支援や避難民様のご支援を中心に活動を行っており、戦争は悲しみしか産まない、そして戦争が続き終わってからも、支援を必要としている人々が沢山いることを知って頂きたいと考えております。

私達一般社団法人関西ウクライナ友好協会の活動は、戦争のことはもちろんですが、この機会にウクライナとゆう国の文化や日本に避難してきている避難民様の現状等を通じてウクライナと日本の交流にも力を入れて行きたいと活動しております。

活動内容につきましては、講演会やチャリティーイベントで支援金を集め、現地ウクライナの親を失った子供達がいる孤児院の施設に支援を行っております。また避難民の現状は言葉の壁が大きく、日常生活に置きましても悩みの内容はより一層深刻な悩みは多く、働きたくても働く場所がほとんどないということが多く聞かれます。そのため、関西ウクライナ友好協会は講演会やチャリティーイベントを行いながら、日頃の不安を取り除く為に避難民様をご招待し、サーカスやBBQなどのイベントを開催しており、さらに身近にいつでもコミュニケーションを取り合い相談が出来るように、2024年より会員様を集いその資金をしっかりとした土台作りを活かし、関西で心のコミュニティがとれる憩いの場として雇用面にも繋がるよう大阪にウクライナ料理の店を設立し、そこで避難民様に働いて頂きながら企業様とあつて頂く機会も増やし



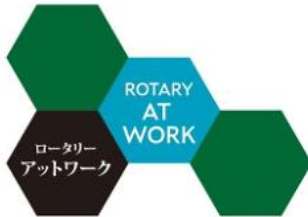
雇用問題を少しでも無くし、ウクライナの美味しい手料理を提供し、避難民のお子様は無料で料理の提供し、ウクライナの方に日本語、日本の方にウクライナ語、双方に英語を習える空間作りや、避難民様を集って日頃の不安を少しでも解消できる空間を目指しながら、会員様とウクライナの方の交流などが出来るコミュニティの場を設立し、後にウクライナに帰還された時に日本語や日本の文化を、ウクライナの方に知っていただき、日本の方がウクライナの文化に興味を持っていただき、日本とウクライナの共に「架け橋」になって行きたいと思っ



て活動を行っております。まだまだ戦争の続き終戦してからも、支援は必要となります。皆様の暖かなお気持ちとお力添えをどうかよろしくお願

い申し上げます。和歌山東南ロータリークラブの皆様ご貴重なお時間誠にありがとうございました

一般社団法人関西ウクライナ友好協・<https://kufa.or.jp/> ・080-3468-7563



ロータリーの友2月号(2024年)横組みP30
 “ROTARY AT WORK”に今年度社会奉仕事業2023年10月14日
 「秋の収穫祭」の記事が掲載されました。

芋掘りで笑顔 10年ぶりの収穫祭

和歌山東南RC

第2640地区・和歌山県

10月14日、クラブの社会奉仕活動として「秋の収穫祭」を開催しました。NPO法人「こども食堂わかやま」や、当地で就労支援などを行っている「若者サポートステーションわかやま」を利用する親子ら約80人を招き、サツ



マ芋掘りを楽しみました。

会員たちは5月から畑の準備。植え付けや水やり、除草など、要所要所を今回の参加者にも手伝ってもらい、今回の収穫祭を迎えました。サツマ芋の品種は「紅あずま」「鳴門全時」「紅はるか」の3種。当日、子どもたちは地域のローターアクターの手も借りつつ、芋のツルをたよりにスコップで掘ったり、手で引っ張ったり。自分の顔ほどの大きさに育った芋が出てくると歓声を上げていました。

その後は、事前に収穫しておいたサツマ芋を使って、焼き芋やてんぷらを作りました。加えて、おにぎりやおでん、綿あめなども提供しました。全員でそれらを食べながら、地域に暮らす人同士のつながりを実感してもらいました。

約10年ぶり4回目となる事業でしたが、計画は大成功。育てたものを収穫して食べるという経験を通して、子どもたちには働く大切さ、食べる楽しさを改めて感じてもらえたのではないのでしょうか。